



錦江町立 神川小学校

児童数 49人
学級数 6クラス



《テーマ》 「学校全体でとりくむ人権教育」
子ども・・・なかまづくり，性の多様性を中心に
教職員・保護者・・・人権意識を高め，問題意識を共有する

研究に当たって（テーマ設定の理由）	研究スケジュール
なかまづくりや性の多様性などの学習を通して、「自分らしく」生きることの大切さを感じてほしいと考えた。子どもだけでなく、教職員，保護者にも人権感覚，人権意識を高めてもらい，過ごしやすい，安心できる学校を目指したい。	8月19日(木) 職員研修の実施 10月27日(水) 職員研修の実施 12月8日(水) 児童向け人権教室の実施 2月4日(金) 家庭教育学級での人権課題講話 2月8日(火) 児童向け人権教室の実施 毎学期 学校楽しいーとの実施 2月16日(水) 職員研修の実施 4月・9月 いじめ・人権を考える週間

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

□ 人権教室（12月8日）

1～4年生と5・6年生に分けて人権教室を実施した。今年の人権教室は「性の多様性」というテーマで行った。

1～4年生は，平成31年度版人権教育指導資料「仲間づくり」の資料を中心に県教育庁指導主事による授業を行った。

5・6年生は，認定NPO法人 ReBit 作成の「Ally Teacher's Tool Kit（アライ先生キット）」を使用しての授業を行った。「性の多様性」を知り，「自分らしく生きること」や，誰もが生きやすい社会を作ろうとする意識を育んだ。



【人権教室】

□ 家庭教育学級での人権課題講話（2月4日）

新一年生保護者説明会の中にある家庭教育学級（子育て講座）の中の一つとして，人権課題講話を取り入れた。県教育庁指導主事によるオンラインでの講話を行い，子どもの人権に焦点を当て，「みんな違って当たり前」ということを認識してほしいということや「わたしメッセージ」で伝えようということ共有することができた。



【家庭教育学級】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの聲，よかったこと，今後やってみたいこと）

- 多様な生き方・考え方にふれ，自分らしく生きていいことに気が付くことができた。
- 幸せに生きる，笑顔で過ごすためには自分も大切，友達も大切ということを知り，友達との関わり方が優しくなった。
- 計画的に継続した人権学習を実践していき，広報活動を通して地域も巻き込んでいく必要を感じる。